

令和3年度(2021年) 神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

【アンケートのテーマ】

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1 スポーツ | 10 地震対策の取組み |
| 2 セーリングの普及 | 11 自転車損害賠償責任保険等の加入 |
| 3 ねんりんピックかながわ2022 | 12 子育てにおける体罰の意識 |
| 4 「未病改善」の取組み | 13 青少年を保護する条例の認知度 |
| 5 肝炎対策 | 14 地域社会との関わり |
| 6 依存症に対する意識 | 15 地域や地域の人々と多様に関わる人々(関係人口) |
| 7 がん対策 | 16 テレワーク(リモートワーク)のニーズ |
| 8 かながわの水源地域 | |
| 9 生物多様性 | |

◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前、ご住所の記入は不要です。
- お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

- ▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、11月22日(月)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)
- ▼ **インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。**

【お問合せ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

- 問合せフォーム (11月22日までの期間限定)

県民ニーズ調査HP (<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/h3e/cnt/f3489/>)
 に掲載している「令和3年度調査対象者」向けお問い合わせフォーム
 から送信してください。

- 電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)

※ 受付時間：月～金 8:30～17:15(土日祝日は閉庁)

1 スポーツ

問1 体力に自信はありますか。 (○は1つ) (n=1,409) (%)

1 ある	8.4	3 どちらかといえばない	32.2	5 分からない	6.2
2 どちらかといえばある	36.8	4 ない	15.3	(無回答 1.0)	

問2 この1年間で1日に30分以上の運動やスポーツ※をした日数はどのくらいになりますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 週に5日以上	12.6	5 月に1～3日程度	15.3	
2 週に3日程度	17.3	6 3か月に1～2日程度	6.3	
3 週に2日程度	13.3	7 年に1～3日程度	12.7	
4 週に1日程度	11.9	8 分からない	9.8	(無回答 0.9)

※1回10分程度の運動やスポーツを合計して30分でも構いません。また、レクリエーションとして行う身体活動やウォーキングなどの軽度の運動も含まれます。

問3 「3033 (サンマルサンサン) 運動※」について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	3.1	2 言葉は聞いたことがある	10.9	3 知らなかった	85.5
(無回答 0.6)					

※3033 (サンマルサンサン) 運動とは、運動やスポーツを1日30分、週3回、3か月間継続して行い、暮らしの一部として習慣化する取組みのことです。

問4 東京2020オリンピックの県内開催競技のうち、何が印象に残りましたか。

(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 セーリング	4.8	3 ソフトボール	35.9	5 自転車競技 (ロード)	6.3
2 野球	32.3	4 サッカー	21.7	6 いずれも見えていない	35.5
(無回答 1.2)					

問5 東京2020オリンピック・パラリンピックをご覧になって、スポーツに関する行動に変化がありましたか。 (○は1つ) (n=1,409) (%)

1 スポーツをよく見るようになった	9.1	3 特に変わらない	86.9	
2 スポーツをよくするようになった	0.7	4 その他	2.1	(無回答 1.2)

問6 「かながわパラスポーツ※」について知っていますか。 (○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	3.5	2 言葉は聞いたことがある	13.1	3 知らなかった	82.6
(無回答 0.9)					

※かながわパラスポーツとは、すべての人が自分の運動機能を活かして同じように楽しみながらスポーツをする、観る、支えることです。

2 セーリングの普及

問7 今夏、東京2020オリンピックのセーリング※競技が神奈川県江の島で開催されました。セーリング競技に興味・関心がありますか。(〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 興味・関心があり、定期的に競技を行っている	0.2	4 どちらかといえば興味・関心はない	42.6
2 興味・関心があり、セーリングの体験や見学、競技観戦をしたことがある	1.5	5 興味・関心はない	41.0
3 どちらかといえば興味・関心がある	14.2		(無回答 0.6)

※セーリングとは、セール(帆)に受ける風のパワーで働く小型の船を使用したヨットやウィンドサーフィンなどのスポーツのことです。

【問7で1～3を選んだ方へ】

問7-1 興味・関心を持ったきっかけは何ですか。(〇は1つ) (n=224) (%)

1 1964年の東京オリンピック	1.8	6 部活動や地域のクラブ活動	1.3
2 2021年の東京オリンピック	21.4	7 テレビやラジオ、新聞などのメディア	20.5
3 1、2を除いたセーリングの大会	7.1	8 セーリングの乗船体験やその他 セーリングに関するイベントへの参加	4.9
4 ヨットやウィンドサーフィンなどをしてる様子を偶然見かけて	23.7	9 その他	4.0
5 家族・友達の影響	11.2		(無回答 4.0)

【全員の方がお答えください】

問8 今後セーリング関係でやってみたい取り組みはありますか。(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 セーリング選手との交流	0.9	5 大会会場や周辺の見学・観光	9.9
2 セーリングの乗船体験	9.4	6 セーリングについて学べる講座	3.1
3 セーリングスクール・クラブの参加	1.3	7 その他	0.6
4 セーリングのレース観戦	13.0	8 特になし	70.3
			(無回答 1.6)

3 ねんりんピックかながわ2022

問9 第34回全国健康福祉祭(ねんりんピックかながわ2022)は神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市などの主催で、2022年に神奈川県内で初めて開催しますが、このことを知っていますか。

(〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	4.4	2 知らなかった	94.8	(無回答 0.8)
---------	-----	----------	------	-----------

※全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、主に60歳以上の高齢者を中心とする国民の健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚などを図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、1988年から毎年各都道府県持ち回りで開催されています。

問 10 「ねんりんピックかながわ 2022」では、大会参加者以外の方でも、競技観戦やイベント参加、ボランティア活動をすることができます。次の中で参加してみたいものを選んでください。
(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 競技観戦	12.1	4 その他	0.1
2 イベント	9.9	5 分からない	13.9
3 ボランティア活動	9.6	6 特にない	62.2 (無回答 0.8)

※ねんりんピックかながわは、県内 26 市町で 32 種目を開催します。また、どなたでも楽しめる各種イベントも実施します。詳細は、右記HPを御覧ください。 <https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0805/nenrin/>

問 11 「ねんりんピックかながわ 2022」を盛り上げるためには、どのような取組みが有効だと思いますか。
(○は2つまで) (n=1,409) (%)

1 競技体験会の開催	17.9	5 LINEによるスタンプ無料配布	8.9
2 イベントでのグッズ配布	13.7	6 その他	3.6
3 街中をフラッグやバナーなどで装飾	27.5	7 分からない	19.1
4 動画を活用したPR	27.5	8 特にない	15.6 (無回答 2.2)

4 「未病改善」の取組み

問 12 「未病 (ME-BYO) ※」という言葉を知っていますか。(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 聞いたことがある	50.8	2 聞いたことがない	48.3 (無回答 0.9)
------------	------	------------	----------------

※未病とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、すべての変化の過程を表す概念です。

問 13 「未病 (ME-BYO)」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	31.4	2 知らなかった	67.1 (無回答 1.5)
---------	------	----------	----------------

問 14 過去1年間で「未病改善※」の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流など)を以前と比べて行うようになったと思いますか。(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 もともと行っており、今も行っている	21.0
2 以前ほどではないが、少しずつ行っている	18.0
3 以前は行っていたが、まったく行わなくなった	3.3
4 以前は行っていなかったが、行うようになった	3.3
5 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった	13.7
6 以前から行っておらず、今も行っていない	39.1 (無回答 1.6)

※未病改善とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことです。県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組みを進めています。

「食」:健康的な食生活へ改善すること。オーラルフレイル(心身の機能の低下につながる口腔機能の虚弱な状態)対策も重要です。

「運動」:日常生活にスポーツや運動を取り入れること。質の良い睡眠も重要です。

「社会参加」:ボランティアや趣味の活動などで他者と交流し、社会とのつながりを持つこと。

問 15 「未病改善」の取組み(バランスの良い食事、運動、人との交流など)をするにあたって必要だと思うものは何ですか。 (〇は3つまで) (n=1,409) (%)

1 医師など、専門家からの専門的知見に基づく現在の健康状態に関するアドバイス	34.6
2 健康に良い食材や調理方法など、食に関する情報	37.7
3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口	5.7
4 スポーツセンターなど、気軽に運動ができる施設	39.2
5 家族、友人など、一緒に健康に良い行動ができる仲間	34.4
6 自分の健康状態を気軽に知ることができる施設やイベントなど	35.8
7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス	2.8
8 将来(10~20年後)の自分に起こりうる健康リスク(生活習慣病や認知症など)を知ること	33.0
9 その他	2.5
10 特になし	6.9
(無回答 2.3)	

5 肝炎対策

問 16 「ウイルス性肝炎」という病気を知っていますか。 (〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	50.0	2 言葉は聞いたことがある	39.4	3 知らなかった	9.9
(無回答 0.7)					

肝炎は、肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気で、日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっています。ウイルス性肝炎は、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 17 これまでに「肝炎ウイルス検査※」を受けたことがありますか。 (〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 ある	17.2	3 ない	63.8
2 受けた可能性がある	7.9	4 分からない	10.1
(無回答 1.0)			

※肝炎ウイルス検査は、本人が自覚的に受検する場合と、大きな外科手術(全身麻酔での手術で1993年以降に経験)、妊娠・出産(1993年以降に経験)及び献血時(1990年以降に経験)に無自覚に受けた可能性があります。

【問 17 で 1、2 を選んだ方へ】

問 17-1 検査の結果を知っていますか。 (〇は1つ) (n=353) (%)

1 知っている	79.0	3 分からない、覚えていない	15.9
2 知らない(結果待ちを含む)	4.5	(無回答 0.6)	

6 依存症に対する意識

問 18 依存症※について、あてはまると思うことを選んでください。(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 誰でもなる可能性がある	82.7	6 依存対象が生活の最優先事項になる	30.2
2 意志が弱いことが原因でなるわけではない	31.3	7 その他	1.1
3 やめたくても、やめられなくなる病気である	68.3	8 分からない	3.2
4 回復することはできるが時間がかかる	51.7	9 当てはまるものはない	2.2
5 自分が依存症であることを認めない	32.1	(無回答 0.6)	

※依存症とは、アルコールや薬物など、特定の物質を摂取することや、ギャンブルやゲーム、インターネットなど、特定の行動にのめり込み、心身への問題や社会生活への支障が生じることをいいます。

問 19 依存症について、相談できる場所として知っているものを選んでください。

(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1	依存症専門医療機関・専門クリニック	61.1
2	かかりつけ医（内科医など）	29.4
3	行政機関（精神保健福祉センター、保健所など）	28.0
4	回復支援施設（依存症の回復のための通所・入所施設）	35.1
5	当事者や家族などの自助グループ	20.4
6	弁護士・司法書士	1.8
7	その他	0.6
8	分からない	16.3
9	知っているものはない	7.7

（無回答 2.4）

【問 19 で 1～7 を選んだ方へ】

問 19-1 相談できる場所を知ったきっかけを選んでください。(○はいくつでも) (n=1,036) (%)

1	ポスター・チラシなど	26.4	5	家族・知人から	15.3
2	県・市町村の広報誌（県のためなど）	23.8	6	職場・学校	13.6
3	医療機関・行政機関などのホームページ	26.4	7	その他	24.0
4	SNS	11.7			

（無回答 5.0）

【全員の方がお答えください】

問 20 あなたやあなたの身近な人が依存症になった場合や疑われる場合、最初にどこで相談したいと思いますか。
(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1	依存症専門医療機関・専門クリニック	60.3	6	弁護士・司法書士	0.5
2	かかりつけ医（内科医など）	36.8	7	その他	0.9
3	行政機関（精神保健福祉センター、保健所など）	23.3	8	分からない	7.9
4	回復支援施設（依存症の回復のための通所・入所施設）	10.3	9	相談したくない	0.9
5	当事者や家族などの自助グループ	12.5			

（無回答 2.6）

問 21 依存症の回復に必要と思うものは何ですか。
(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1	医療機関などの治療	68.1	6	家族の説得	12.4
2	専門相談機関への相談	57.6	7	家族の肩代わり	2.1
3	家族や職場など周囲の人の理解	58.5	8	その他	1.9
4	自助グループのミーティング （当事者など自身の体験などを話し合う）	24.8	9	分からない	3.5
5	本人の強い意志	47.6	10	特になし	0.8

（無回答 2.5）

7 がん対策

問 22 コロナ禍における「がん検診」の受診について、どのように考えていますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 コロナ禍であっても、受診するべきである	73.1	3 そもそも受診する必要性を感じない	4.2
2 コロナ禍では、受診は控えるべきである	9.2	4 分からない	11.2

(無回答 2.3)

主ながん検診の種類は、胃がん（問診、胃のX線検査又は胃内視鏡検査）、大腸がん（問診、便潜血検査）、肺がん（問診、肺のX線検査及び喀痰細胞診）、乳がん（問診及びマンモグラフィ）、子宮頸がん（問診、視診、細胞診及び内診）です。

【問 22 で 1 を選んだ方へ】

問 22-1 これからがん検診を受ける場合、どこで受診しようと思いますか。

(○は1つ) (n=1,030) (%)

1 お住まいの市町村が行っているがん検診	48.8	4 人間ドック	21.8
2 職場で行っているがん検診	18.7	5 その他	2.5
3 家族が勤務する職場で行っているがん検診	3.5	6 分からない	2.2

(無回答 2.3)

問 23 県民のがん検診受診率は、目標としている 50%をなかなか超えられていない状況です。がん検診を受ける人が少ない理由は何だと思えますか。

(○は3つまで) (n=1,409) (%)

1 がん検診の重要性が理解されていないから	32.5	6 検査が痛そうだから	10.7
2 申込方法や日程がわからないから	21.8	7 費用がかかるから	37.7
3 申込みが面倒だから	40.0	8 検査の結果を聞くのが怖いから	13.2
4 検診会場が不便な場所にあるから	12.6	9 検診会場でコロナに感染するのが怖いから	10.0
5 夜間や休日に受けられないから	33.9	10 分からない	4.7

(無回答 4.3)

8 かながわの水源地域

問 24 県にあるダム湖（ダム）のうち、知っているものはありますか。

(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 相模湖（相模ダム）	82.0	4 丹沢湖（三保ダム）	57.0
2 奥相模湖（道志ダム）	22.4	5 宮ヶ瀬湖（宮ヶ瀬ダム）	72.5
3 津久井湖（城山ダム）	64.6	6 いずれも知らない	6.2

(無回答 1.9)

問 25 問 24 のダム湖（ダム）が観光スポットとなっていることを知っていますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っているし、行ったことがある	56.5	3 知らなかったが、行ってみたい	3.8
2 知っているが、行ったことはない	27.5	4 知らなかった	10.2

(無回答 2.1)

問 26 もし、県にあるダム湖（ダム）に行く場合、体験したいと思うものは何ですか。

(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 キャンプなどの野外活動や自然体験	36.0	6 湖や河川などでの釣り	19.9
2 ダムや周辺施設の見学、水源学習	47.2	7 地元特産品などのグルメ	46.5
3 名所や旧跡などの観光	38.7	8 その他	0.6
4 イベントや祭事への参加	18.7	9 特にない	10.5
5 カヌーや自転車などのスポーツ	18.3		(無回答 2.0)

9 生物多様性

問 27 「生物多様性※」の言葉の意味を知っていますか。 (〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	31.4	2 言葉は聞いたことがある	33.7	3 知らなかった	33.1
(無回答 1.8)					

※生物多様性とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持って
いることをいいます。こうした自然や生きものたちが育む水や空気、食べ物などの恵みにより、私たちの暮らしは
支えられています。

問 28 生物多様性を保全するために日頃から心がけていること、実践していることはありますか。

(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 責任あるペットの飼育	35.1	5 生物多様性に関する記事や広告に目を留める	16.5
2 生態系に配慮した農畜水産物※の購入	16.0	6 生物多様性を保全する活動に参加する	2.4
3 生物多様性保全に取り組む企業※の 製品の購入	10.9	7 家族や友人と生物多様性保全の話をする	6.4
4 身近な自然を生物多様性の視点で考える	24.1	8 その他	1.3
		9 特にない	39.5
(無回答 1.6)			

※生態系に配慮した農畜水産物とは、環境保全型農業や有機畜産により生産された農畜産物、持続可能な漁業に
よる水産物であり、例えば有機 J A S 認証やエコファーマーマーク、海のエコラベルがついた製品が挙げられま
す。

※生物多様性保全に取り組む企業とは、製品製造時に環境負荷軽減に配慮したり、清掃や植林などの保全活動を
継続して実施したりしている企業です。今や 75%の企業が経営方針に生物多様性保全の概念を盛り込んでおり、
自社ホームページなどで活動を公開しています。

問 29 お住いの周辺地域の自然環境は以前と比べてどのような変化があったと感じますか。

(〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 豊かになった	2.1	4 どちらかといえば劣化した	19.8
2 どちらかといえば豊かになった	6.4	5 劣化した	12.3
3 変化はない	42.2	6 分からない	16.0
(無回答 1.2)			

10 地震対策の取組み

問 30 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 非常持ち出し品の準備	49.1	7 防災訓練に積極的に参加	7.2
2 食料や飲料水の備蓄	64.9	8 感震ブレーカー※などの設置	6.5
3 住まいの耐震化	15.8	9 消火器の設置	24.6
4 家具・家電などの固定	35.8	10 その他	1.0
5 避難場所や避難経路の確認	37.5	11 特に対策はしていない	11.5
6 家族と連絡方法の確認	35.8		(無回答 0.6)

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生 of 切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

問 31 海岸や海岸近くで、地震による強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、どのように行動しますか。(〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 すぐに海岸から避難する(5分以内)	91.8	3 津波が迫ってから避難する	0.9
2 用事を終えてから避難する(15分以内)	2.0	4 分からない	3.8
			(無回答 1.6)

問 32 次のことを知っていましたか。「知っていた」、「知らなかった」のどちらかに〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	(n=1,409) (%)		
	知っていた	知らなかった	(無回答)
(1) 小さな揺れでも大きな津波になることがある	69.3	29.6	1.1
(2) 津波は、早ければ地震発生後数分で到達する	91.1	8.0	0.9
(3) 津波は、繰り返し襲ってくる	91.2	7.7	1.1
(4) 津波の伝わる速さは非常に速い(津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合いではジェット機に匹敵する速さで伝わる)	61.0	37.7	1.3
(5) 「津波避難ビル」に指定されている建物がある	45.6	53.1	1.3
(6) 津波の浸水範囲や避難情報などが記載された「津波浸水予測図マップ」「津波ハザードマップ」がある	75.2	23.6	1.2
(7) 津波から避難するときは、「遠いところ」ではなく「高いところ」に逃げる必要がある	94.1	5.0	0.9
(8) 津波警報・注意報などが発表されると、避難を呼びかけるために、海岸に赤と白の格子模様の旗(津波フラッグ)が出されることがある	14.5	84.4	1.1
(9) 津波の発生する恐れがあるとき、海や海岸にいる人に対して、放送やサイレンで津波の情報を知らせることがある	80.1	18.9	1.1
(10) 東日本大震災の教訓を踏まえて、総合的な地域づくりの中で津波防災を推進する「津波防災地域づくりに関する法律」が2011年12月に施行された	15.1	83.6	1.3

問 33 津波に対する防災・減災の観点から、住んでいる地域で実施が望まれるものはありますか。
(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

「津波災害警戒区域」の指定

津波が発生した場合に、住民などの生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域です。津波から「逃げる」ために、避難訓練の実施、津波ハザードマップの作成、避難施設の確保など、警戒避難体制を特に整備すべき区域です。建物の建築や開発行為は制限されません。

「津波災害特別警戒区域」の指定

津波災害警戒区域のうち、津波が発生した場合、建物が損壊・浸水し、住民などの生命・身体に著しい危害が生じるおそれがある区域です。身体的な理由などにより、津波から逃げるのが難しい住民などが、建物の中にも津波を「避ける」ことができるよう、社会福祉施設、医療施設、学校などを建築する場合などに、一定の規制があります。

「推進計画」の策定

津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画で、市町村が実施する施策だけでなく、国・都道府県・地域住民など多様な主体によるハード（津波防護施設の整備）・ソフト（避難訓練の実施など）のあらゆる施策を計画に位置付けることができます。

1 「津波災害警戒区域」の指定	28.0	5 その他	1.3
2 「津波災害特別警戒区域」の指定	25.1	6 特になし	7.2
3 津波防災ビジョンを示す「推進計画」の策定	21.2	7 分からない	16.0
4 内陸に住んでいるため特に望むものはない	33.9		(無回答 3.1)

11 自転車損害賠償責任保険等の加入

問 34 通勤や通学、その他日常生活で自転車を利用していますか。(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 利用している	32.4	2 利用していない	66.1	(無回答 1.5)
----------	------	-----------	------	-----------

【問 34 で 1 を選んだ方へ】

問 34-1 自転車損害賠償責任保険等※に加入していますか。(○は1つ) (n=457) (%)

1 加入している	75.9	3 分からない	5.3
2 加入していない	18.6		(無回答 0.2)

※自転車損害賠償責任保険等とは、自転車を利用中の交通事故で、相手の怪我などの被害に係る損害を補償する保険等のことです。保険等には、自転車専用の保険のほか、自動車保険などの特約(個人賠償責任保険)、自転車に付帯するTSマーク保険などがあります。

【全員の方がお答えください】

問 35 すべての自転車利用者が自転車損害賠償責任保険等に加入することについてどう思いますか。
(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 加入すべきである	83.9	3 分からない	9.7
2 その必要はない	4.5		(無回答 1.8)

12 子育てにおける体罰の意識

問 36 令和2年4月から体罰禁止が法定化されました※。保護者が体罰※によらない子育てをするために、必要な取組みは何だと思えますか。(〇は1つ) (n=1,409) (%)

1 公的機関による相談機能や一時保育機能などの 子育てサービスの充実	48.3	4 分からない	10.7
2 子育て教室による養育のスキルアップ	14.5	5 その他	2.8
3 法律の更なる啓発	10.4	6 特になし	3.2
		(無回答 10.1)	

※ 令和元年6月に成立した児童福祉法等の改正法において、体罰禁止が法定化され、令和2年4月1日から施行されました。この法律施行の背景には、保護者が「しつけ」と称して暴力・虐待を行い、子どもの命が失われる痛ましい事件が続いたことがあります。

※ **体罰**とは、「注意しても聞かないので頬を叩く」など、身体に苦痛、不快感を与える行為を言います。また、子どもに対して、冗談のつもりでも「生まれてこなければよかった」と存在を否定するなどの発言は、子どもの心を傷つける行為であり、虐待や人権侵害に当たります。

問 37 体罰などが繰り返されると、心身にさまざまな悪影響が生じる可能性があることが、科学的にも証明されています。次の中から体罰などが子どもに与える影響について知っているものを選んでください。(〇はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 身体に苦痛、不快感を与える	49.6	6 感情をうまく表せない	73.8
2 親子関係を悪くする	69.1	7 落ち着いて話を聞けない	52.7
3 攻撃的になる	57.3	8 我慢ができない	35.6
4 びくびくして落ち込む	64.1	9 自信をなくす	51.9
5 子どもの心を傷つける	77.2	10 知っているものはない	2.4
		(無回答 2.5)	

問 38 子どものしつけで困った時に、誰に(どこに)相談したいと思いますか。(〇は3つまで) (n=1,409) (%)

1 家族や親戚	64.1	6 市役所や町役場、村役場	6.7
2 友人や知人	51.4	7 児童相談所	18.0
3 子どもの学校や幼稚園、保育園など	22.8	8 その他	3.4
4 子育てサークル	4.2	9 相談したくない	2.3
5 子育て支援センター	29.0	(無回答 7.8)	

13 青少年を保護する条例の認知度

問 39 県で「青少年保護育成条例※」を定めていますか、その内容を知っていますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	19.7	3 知らなかった	32.1
2 条例があることは知っていたが、内容までは知らなかった	46.3	(無回答)	1.9

※青少年保護育成条例とは、青少年の健全な育成を図ることを目的にするとともに、保護者、県民などの責務を明らかにし、有害図書類の指定及び販売などの禁止や深夜外出の制限、個室など営業施設に係る制限などを規定する条例のことです。

問 40 県で「青少年喫煙飲酒防止条例※」を定めていますか、その内容を知っていますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 知っている	39.7	3 知らなかった	30.7
2 条例があることは知っていたが、内容までは知らなかった	28.1	(無回答)	1.5

※青少年喫煙飲酒防止条例とは、広く県・保護者・事業者・県民に対して、20歳未満の者の喫煙・飲酒の防止に努めることを定めるほか、購入者が20歳未満の者と疑われる場合に販売者が証明書により年齢確認をする義務を定める条例のことです。

14 地域社会との関わり

問 41 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしていますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 そう思う	64.7	2 そう思わない	31.9	(無回答)	3.5
--------	------	----------	------	-------	-----

15 地域や地域の人々と多様に関わる人々 (関係人口)

「関係人口」とは、その地域に住んでいる方でも、また単に観光に来る方でもない、その中間に該当する方のことです。例えば、継続的に地場製品の購入をする方や地域のイベントに参加する方、就労(仕事)を通じてその地域と関わる方のことをいいます。

問 42 お住まいの地域以外に、継続的に関わりを持ちたいと思う特定の地域はありますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 ある	33.0	2 ない	64.9	(無回答)	2.1
------	------	------	------	-------	-----

【問 42 で 1 を選んだ方へ】

問 42-1 それはどのような関わりですか。最も関わりを持ちたいと思うものを選んでください。

(○は1つ) (n=465) (%)

1 趣味・消費を通じた関わり※1	57.4	4 地域づくり活動への参加を通じた関わり	6.0
2 参加・交流を通じた関わり※2	12.3	5 ふるさと納税を契機とした関わり	3.4
3 就労を通じた関わり※3	10.1	6 その他	4.1
(無回答 6.7)			

※1 地域での趣味活動や飲食、地場製品の購入

※2 地域イベントへの参加や地域の人との交流

※3 テレワークや地元企業、農林水産業などでの労働

問 42-2 お住まいの地域以外に、関わりを持ちたい地域はどの地域ですか。

(○は1つ) (n=465) (%)

1 川崎・横浜地域	17.8	4 湘南地域	20.0
2 三浦半島地域	14.4	5 県西地域	6.5
3 県央地域	4.9	6 その他都道府県	32.0
		(無回答 4.3)	

16 テレワーク（リモートワーク）のニーズ

問 43 テレワーク（リモートワーク）をしたいと考える場所はどこですか。

(○はいくつでも) (n=1,409) (%)

1 自宅	62.1	6 その他	1.3
2 勤務先のサテライトオフィス	9.8	7 特にない	13.5
3 勤務先以外のサテライトオフィス	11.4	8 分からない	10.2
4 飲食店、喫茶店	9.5	9 どこでもよい	3.1
5 宿泊施設	15.3	(無回答 4.5)	

問 44 自宅以外でテレワーク（リモートワーク）をする場合、その場所に何を望みますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 サテライトオフィスの多さ	8.7	6 自然の豊富さ	8.6
2 テレワーク可能な図書館などの公共施設の多さ	11.1	7 その他	3.1
3 飲食店の豊富さ	2.3	8 分からない	15.4
4 コンビニ、スーパー、小売店の豊富さ	5.0	9 特にない	14.4
5 近隣の静かさ	21.3	(無回答 10.1)	

問 45 リゾート地や観光地などでの滞在中に、余暇を楽しみながら仕事（テレワーク）を行う、ワーケーションをどの形態で実施したいと思いますか。

(○は1つ※) (n=1,318) (%)

1 【ブレッジャー型※】	15.3	5 その他	0.2
2 【リゾートワーク型※】	13.3	6 分からない	25.6
3 【企業が費用負担する研修型※】	6.1	7 実施したいと思わない	29.4
4 【サテライトオフィス型】	4.2	(無回答 6.0)	

※ブレッジャー型とは、出張先などで、滞在期間を延長して余暇を楽しむ形態をいいます。

※リゾートワーク型とは、自費で休暇中にテレワークをする形態をいいます。

※企業が費用負担する研修型とは、グループワークなどを行い、空き時間に余暇を楽しむ形態をいいます。

※問 45 は本来、複数選択の設問でしたが、インターネットによる回答において、複数選択ができない設定となっていました。このため、当該設問については、1つの選択肢のみ回答していただいた1,318名分(郵送分806名+インターネット分512名)を集計し、調査結果とさせていただきます。併せて、複数選択の設問として回答していただいた897名分の調査結果を、次のとおり付記します。ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

(参考) 複数回答の設問として回答した897名分の調査結果

1 【ブレジャー型】	15.9% (143件)	5 その他	0.2% (2件)
2 【リゾートワーク型】	14.9% (134件)	6 分からない	31.0% (278件)
3 【企業が費用負担する研修型】	9.4% (84件)	7 実施したいと思わない	28.3% (254件)
4 【サテライトオフィス型】	5.1% (46件)	無回答	8.5% (76件)

…*…*…*
集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(個人を特定するものではありません。)

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,409) (%)

1 横浜(横浜市)	41.2
2 川崎(川崎市)	12.9
3 相模原(相模原市)	6.2
4 横須賀三浦(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)	8.6
5 県央(厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)	10.1
6 湘南(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)	15.1
7 県西(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	4.0
(無回答 1.7)	

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,409) (%)

1 男性	45.6	2 女性	49.3	(無回答 5.1)
------	------	------	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2021年11月1日現在) (n=1,409) (%)

1 18~19歳	0.2	5 35~39歳	7.2	9 55~59歳	10.4	13 75~79歳	3.7
2 20~24歳	1.3	6 40~44歳	9.0	10 60~64歳	9.7	14 80歳以上	2.6
3 25~29歳	2.9	7 45~49歳	11.7	11 65~69歳	10.3		
4 30~34歳	5.5	8 50~54歳	11.6	12 70~74歳	10.8	(無回答 3.0)	

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(同居、別居は問いません。)

(○はあてはまるものすべて) (n=1,409) (%)

1 小学校入学前	8.8	5 短大、専門学校等在学中	1.3	9 その他	3.1
2 小学校在学中	11.4	6 大学、大学院等在学中	6.2	10 子どもはいない	30.7
3 中学校在学中	6.7	7 学校教育終了[未婚]	20.9		
4 高校在学中	6.3	8 学校教育終了[既婚]	23.9	(無回答	4.0)

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。

(○は1つ) (n=1,409) (%)

1 一人暮らし(単身世帯)	15.8	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	5.0
2 夫婦のみ(1世代世帯)	24.9	5 その他の世帯	4.1
3 親と子の世帯(2世代世帯)	46.9	(無回答	3.3)

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。

また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,409) (%)

(n=922) (%)

1 自営業主	6.0	ア 農林水産業	1.1
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.1	イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	5.0
3 勤め (フルタイム)	42.8	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	3.8
4 勤め (パートタイム)	15.4	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	6.8
5 内職	0.1	オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など)	20.2
6 主婦・主夫 (勤めていない)	14.1	カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	23.5
7 学生	0.6	キ 教育職(教諭、保育士など)	3.6
8 無職	14.9	ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	11.1
9 その他(具体的に：)	0.4	ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	21.0
(無回答	4.6)	(無回答	3.9)

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月22日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

【テーマ名： 】

117人 (8.3%) から自由意見が寄せられました。